



【学校教育目標】 夢をえがき 計画を立て 行動する 児童の育成

家庭と学校の絆

月桂樹



令和8年度8.9月号
戸田市立新曾小学校
Tel 048-442-2774

多様性を理解するとは

校長 筒井 陽子

38日間の夏休みを終え、子供たちの元気な声が学校に戻ってきました。本日から前期後半がスタートしました。大きな事故やケガもなく、御家庭や地域で温かく見守っていただきましたことに、心より感謝申し上げます。

さて、夏休み期間中、私たち教職員も学びを深めてまいりました。8月20日には、多様性理解研修を実施しました。研修内容は、筑波大学准教授 丹治 敬之先生をお招きして「通常の学級でできる LD(学習障害)の理解と支援」の御講義をいただくとともに、特別支援学級や各種通級指導教室での支援についての情報共有や夏季休業中の研修報告会などを行いました。研修では、子供たちの得意・不得意を理解し、環境を変える視点をもって、それぞれに合った支援や指導について学びました。

この研修を通して、改めて確認したのは、「多様性を理解するとは、単に違いを知ることにとどまらない。」ということです。本校には、子供たち一人ひとりの学びやすさやニーズに応じたさまざまな教室やサポートの場があります。新曾小の子供たちには、自分とは違う過ごし方や勉強法をしている友達に出会ったとき、「あの人は今、自分にぴったりのやり方で頑張っているんだな。」と想像力を働かせ、お互いの「ぴったり」を応援し合える関係を育むことができるようになってほしいと願っています。

8月25日の「はじめの会」でも、多様性の理解について、「いろいろな色でつくる わたしたちのカラフルな学校」という話をしました。一つの色に染まるのではなく、それぞれの「色(個性)」を尊重し合うからこそ、学校というパレットは美しく輝くものです。一人ひとりが自分に合った「ぴったり」の環境や道具を使って、自分の力を精いっぱい発揮できる学校を目指し、研修で得た学びを前期後半の指導に還元してまいります。

去る7月23日(木)～25日(土)には、5年生の林間学校を実施しました。子供たちの健康面を第一に考慮し、若干の計画変更はありましたが、無事に終了することができました。お忙しい中にもかかわらず、送迎にはたくさんの5年生の保護者の皆様にお越しいただきましたことに感謝申し上げます。

さらに、8月27日(木)・28日(金)には、6年生の栃木県日光市方面への修学旅行が行われます。残暑も厳しい折、健康面や安全面に十分考慮し、各教科等との学習と結びつけながら、取り組んでまいります。6年生の保護者の皆様には、お子様の体調管理や準備等お手数おかけいたしますが、御理解と御協力いただきますようよろしくお願いいたします。